

宇部市個人情報保護対策審議会 会議録

日 時：令和元年 8 月 5 日(月) 14 時 00 分～15 時 50 分

場 所：宇部市役所本庁舎 2 階 第 1 会議室

1 議 題

- (1) やまぐち自治体クラウド基幹系システムの共同利用に係る業務委託について
- (2) 保育業務支援システムの構築について

2 出席者

- (1) 委 員 佐藤会長、松藤副会長、寺地委員、加藤委員、弘中委員
- (2) 提案部の職員
(総合戦略局)
明德 ICT・地域イノベーショングループリーダー、西村 ICT・地域イノベーショングループサブリーダー、古谷 ICT・地域イノベーショングループチーフ
(こども・若者応援部)
上村こども・若者応援部長、向上保育幼稚園学童課長、藤本保育幼稚園学童課副課長、谷崎保育幼稚園学童課保育係主査
(事務局)
穂積総務財務部参事、原田総務管理課長、松尾総務管理課副課長、高橋総務管理課総務統計係主査、河野総務管理課総務統計係主任

議題 1 やまぐち自治体クラウド基幹系システムの共同利用に係る業務委託について

(委員)

共同運用を行う 7 市町の場合が離れているが理由があるのか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

もともと 7 市町に山口市を含めた 8 市町でクラウドの研究会を行っていたが、最終的にクラウド化に合意したのが 7 市町となる。大きな根拠としては、住民基本台帳や税、国民健康保険等、窓口の基幹システムが同じパッケージを使用しており、まとまりやすかったことがあげられる。

(委員)

県内全市町で取り組むという話はないのか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

自治体クラウドについては、平成 20 年頃に国から話があり、山口県内の情報担当部門が集まる協議会において、一緒に取り組んでいこうと声かけをしてきたが、なかなかまとまりきれなかった経緯がある。そのような中、平成 24 年に改正住民基本台帳法が施行され、外国住民の方が住民基本台帳に記載されることとなったことや、番号法等、単市では維持できないという機運が高まりクラウド化となった。県内の中ではもう一つクラウドのグループがあり、宇部市を含む NEC 系統のグループと、周南市が事務局である日立系統のシステムでかたまった 4 市 1 町のグループがある。最終的には、県内を 1 つにしたほうがよ

り業務の効率化に資すると考えるため、今後話し合いを進めていくとともに、グループにもまだ入っていない山口市、岩国市等も今後参加してもらうようお願いしていきたい。

(委員)

データセンターはどこにあるのか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

セキュリティ上、具体的には答えられない。

(委員)

「サービスデスク」について、もう一度詳しく説明をお願いしたい。
また、なぜ広島なののかも教えて欲しい。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

7市町を分散して保守するよりも、1箇所にして保守するほうが効率的である。
また、今回使用しているパッケージシステムの開発業者と保守業者は広島にある同じ事業者であり、同じ会社の開発ルームの中に、データセンター分室という形でサービスデスクを置くことによって、保守対応がしやすくなる。仮にトラブルが発生しても同じ開発メンバーが近くにいるという距離のメリットがあります。そのような理由から、広島の開発会社の中にサービスデスクを置くこととなった。

(委員)

サービスデスクを利用できるのは、委託業者の社員だけとなるのか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

はい。

(委員)

何か問題があった場合は、専用の回線を通じて調べたりするのか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

基本的にはインターネットと繋がらない専用回線でデータセンターと繋ぎ保守を行う。

(委員)

データは外部に漏れないよう保障されているのか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

データはデータセンター側にあり、システム的には端末側からデータセンターを覗きに
いっているだけである。例えば手元にある保守端末にデータを保存したとしても、それはあくまでもデータセンター上の端末に保存され、仮想端末のようにになっているため、データは物理的に手元に届かない。

(委員)

プリントもできないのか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

保守要件の中で紙を打出す行為も必要となってくるが、その場合はサービスデスクの中にあるシュレッダーで常に廃棄することとなる。また、その部屋で紙を打出したことが分

かるよう、紙の色を全て変え、視覚的にもわかるような状態で打出しをする。

(委員)

委託先は実績もあり信頼がおける業者なのか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

もともとパッケージの開発ベンダーでもあり、県内で同じようなクラウドサービスデスクがある等、実績は当然あり、保守会社としての信頼はある。特に今まで問題があったことは聞いていない。

(委員)

私から2つ質問します。

一点目は、業務委託の実施状況における個人情報管理の確認を1年毎に監査するとあったが、業務委託実施要綱か何かで確実に定めて、管理状況をチェックするのか。

二点目、今回7市町共同であるが、発注元の責任者はどのようになるのか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

一点目、委託先はISO等に基づき資格を取得し管理している。また、プライバシーマークも取得している。また、毎月定例会を実施し、セキュリティ管理について報告を行ってもらう。

二点目、サービスデスクの管理は、各市町での管理責任となる。

(委員)

サービスデスクの監視カメラ映像の保存期間が3カ月とあるが、一般的にこれくらいの期間なのか。少し短い気もするが。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

監視カメラは24時間365日撮影しているため、データ容量の関係から保存期間は3カ月と提案をうけている。ただ、部屋の中に個人情報を置いているわけではないため、実態は入退室の管理となる。仮にデータをプリントアウトしようとしても顔認証が必要となり、データアクセスが不可能であり、こちらのデータログについては、最低でも5年の保存としている。

(委員)

ログをとることは分かるが、顔認証しても横から端末を覗いて見る事が可能ではないか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

端末を横から見られることも想定されるが、端末にもプライバシーガードを設置しているため横からは見えにくくなっている。

(会長)

確認だが、今回の案件の審議は、サービスデスクの追加部分だけになるのか。基幹系システムの共同利用に係る業務委託については、過去に審議済みなのか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

基幹系システムは基本的に何も変わっていないし、データセンターも同じところを使っているので変更がない。今回はサービスデスクを遠隔地の広島県に新たに設置するという「セキュリティ」の観点から、報告、審議のお願いとなる。

(会長)

今回使用しているパッケージは同じであるが、クラウド化したということか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

もともとクラウド化していたが、今回それを共同化する。簡単に言えば運用形態の変更に新にサービスデスクが付加された形となる。

(会長)

宇部市は1次稼働、2次稼働で終了となるのか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

そのとおり。ただ、7市町の中で新しいシステムが必要となれば導入していくこととなる。

(会長)

共同化はしないが単独で使用している業務は残るということか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

他の団体と共同する要件がない業務が若干残る。

(委員)

庁内でネットワーク障害が発生した場合もサービスデスクが対応するのか。それともサービスデスクはデータセンターの障害にしか対応しないのか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

サーバー上でのトラブルは、サービスデスクが対応する。例えば庁内の端末バッチ処理でトラブルが発生した場合も基本的にはサービスデスクで対応する。仮にサービスデスクで対応ができなければ、現地保守員が現場で対応することとなる。

(委員)

サービスデスクでのマイナンバーの管理対応はどうなっているのか。

(ICT・地域イノベーション推進グループ)

当然、特定個人情報を取扱うシステムであるため、今回のクラウド化に合わせて、特定個人情報保護評価書にサービスデスクの要件を加える更新を行い国に提出し、審査となる。

(会長)

それでは採決したい。この議題に賛成される方の挙手を求める。

〈全委員挙手〉

(会長)

それでは全会一致で賛成することとしたい。

議題2 保育業務支援システムの構築について

(会長)

システムの構築ということだが、資料にある記録項目を今までどのように記録・保存していたのか。

(保育幼稚園学童課)

現状は紙で記録し管理している。

(会長)

これまで記録していない項目で、新たに追加する項目はあるか。

(保育幼稚園学童課)

新しい項目はない。

(委員)

システムを導入するのは市内保育園、幼稚園なのか。

(保育幼稚園学童課)

まずは、テストで神原保育園に導入するが、最終的には全ての公立保育園に導入することを考えている。

(委員)

今回はテストで神原保育園ということだが、これまでアナログ方式により、神原保育園の職員が管理してきた項目を、宇部市の職員がシステムに入力するのか。

(保育幼稚園学童課)

園で管理している情報の入力、は、保育園の職員が行う。なお、園児情報については、子ども・子育て支援システムの情報を取り込み移行する。

(委員)

もともと市が保有する子ども・子育て支援システムの情報を保育園に提供することになるのか。

(保育幼稚園学童課)

園児情報は、子ども・子育て支援システムにあるので移行するが、それ以外の記録項目は、保育園の職員で入力してもらう。

(会長)

これまでの子ども・子育て支援システムは、担当課だけが使用していたシステムになるのか。

(保育幼稚園学童課)

はい。

(会長)

今後は、各保育園にパソコン等の端末が配置され、保育園の職員が随時内容を更新していくのか。

(保育幼稚園学童課)

更新作業にはパソコンとタブレットを使用し、職員が随時内容を更新していく。

(会長)

システム内の情報は、神原保育園の職員であれば全員見る事ができるのか。

(保育幼稚園学童課)

神原保育園の職員であっても、園長、副園長等、役職によって見られる情報が制約される。また、保護者は基本的に情報を見る事ができない。保護者が関わるのは入退園の情報のみとなる。

(会長)

市の担当課は全て情報が見られるのか。

(保育幼稚園学童課)

はい。

(会長)

今後、公立保育園全部に配備された場合、公立保育園園児の総数は何人ぐらいか。

(保育幼稚園学童課)

定員で約 510 人となる。

(委員)

保育園を欠席した際は、保育園の職員がシステムに入力するのか。

(保育幼稚園学童課)

保育園を欠席する場合は、保護者がスマートフォンで欠席の連絡が可能となる。ただし、園としても内容を把握するため、朝の登園の忙しい時間帯を避け、欠席の確認を行う運用となっている。

(委員)

欠席の情報もデータセンターに送ると考えていいのか。

(保育幼稚園学童課)

はい。それは保護者のスマートフォンから送ることになる。

(委員)

保護者から欠席の連絡がなかった場合はどうなるのか。

(保育幼稚園学童課)

連絡がなく登園もない場合は、園から保護者に連絡し対応する。

(委員)

保育園の先生は一年毎に入れ替えする事が多いが、入力間違いを見落とす可能性はないか。

(保育幼稚園学童課)

園長も含め入力内容の確認は園でしっかり行う。

(委員)

園児の数も多く、先生の交代も頻繁にあるため、入力間違いの見落としがあると大きな問題に発展する可能性があるのではと少し心配になった。

また、園児も含め家庭環境も様々であり、担任の先生以外には知られたくない情報等、あるのではないかと感じる。

(保育幼稚園学童課)

園長、副園長は全体を把握する必要があるため別となるが、先生方のIDはそれぞれあり、見られる情報もしっかり管理されている。確かに園児数が多いため情報量も多いが、紙で管理するより、システム化し、園長、副園長を含めチェックする。逆に情報がしっかりしていれば、何かあった際の把握も早い。

今、保育園から小学校の幼児教育の連携、あるいは個別情報の案件を整理するにあたり、情報量も多くなるため、確実に小学校へ引継げるようにしなければならない。

情報入力の人的ミスは、どうしても防げないところがあるが、二重三重のチェックを行っていきたいと考えている。

(委員)

本システムにかかる経費はどれくらいかかるのか。

(保育幼稚園学童課)

費用的には最初にタブレット、管理パソコン、月額の使用料が少しかかる。

(委員)

経費がそこまでかからないのであれば、テストを神原保育園だけで実施するのではなく、他でもやってみてはどうかと感じた。それぞれの地域性の違いも分かり、色々見えてくるところもあるのではないか。

(保育幼稚園学童課)

地域との関係で保育園が困っている、苦勞している、という声は直接聞いてはいない。

(委員)

データセンターでの個人情報管理について、宇部市として管理状況を定期的に確認するのか。

(保育幼稚園学童課)

システムの導入が具体的に決定していないため、管理状況の確認についてはまだ検討中であるが、データセンターの運営状況やセキュリティ管理については、確認する必要があると考えている。

(委員)

それらは業務委託契約の中で定めていくのか。また、市が現地に出向き管理状況等を確認するのか。

(保育幼稚園学童課)

取扱われる情報が個人情報となるため、現地に出向くことも含め検討していきたい。た

だ、今回はLGWAN-ASPとなり、これは身近であればセブンイレブンでマイナンバーがあれば住民票が取れるシステムと同じである。また、LGWANがデータセンターとして認める場所も、地方公共団体機構で厳しく機能要件、設置要件が決められているため、データセンターの物理的な要件については、問題はないと考えている。入室記録等を含め、確認していかなければならない。

(委員)

現在でも宇部市と保護者の間で個人情報の提供があると思うが、本システムを運用するにあたり、新たに保護者へ個人情報の提供について承諾を得ることはあるのか。

(保育幼稚園学童課)

入園の手続きの際に、保護者から必要な事項の同意は得ている。新たに情報が必要となった場合は、必要項目を追記し同意を書面で得たいと考えている。現状では、保護者に記入していただいた内容で十分であり、同意も得ている。

(委員)

外部への資料提供で、保育要録を小学校へ提供とある。これは、システム内での小学校への提供なのか、それとも口頭や書面での提供となるのか。

(保育幼稚園学童課)

保育要録は、紙で小学校へ提供している。システム導入後も紙でプリントアウトし提供することを考えている。

(委員)

保護者からの個人情報の提供について、承諾が得られなかった場合の対応は。

(保育幼稚園学童課)

これまで承認が得られなかったケースがない。基本的に、システムで持っている情報は入園の際に書いてもらう項目のため、全項目承諾が得られている。

(委員)

保護者には、これらの情報を本システムで使用することを説明するのか。

(保育幼稚園学童課)

説明の必要はあると考えている。

(委員)

今回のシステム導入における目的に、保育士の事務作業の効率化があげられているが、実際に保育士の事務量は減り、園児と向き合う時間が確保できるようになるのか。

(保育幼稚園学童課)

今は紙ベースで保育計画等を作成している。例えば、園児がクラス替えをした場合、また一から保育計画等を紙ベースで作成する必要がある。しかし、システム管理になれば、昨年度の計画をベースに保育士の方であらかじめ登録した指導方法や指導要領のテンプレートを利用し作成できる。データの変更で作成ができるため、効率性が上がると考える。また、進級でのクラス替えについて対応しやすいところというと、作業効率化が図れるのではと考えている。システム導入にあたっては、保育士へ必要項目を確認しながら進めており、概ね保育士の意見は網羅されている。システム開発側と現場の意見は少し変わって

くる部分もあるため、導入するまでの調整期間において、いかに保育士の負担を減らすかを検討しながら進めていく。

(委員)

システム上からアクセスされ個人情報が抜き出された場合、責任は管理会社となるのか。また、保育園側で、情報セキュリティの強化は考えているのか。

(保育幼稚園学童課)

園では職員がタブレットを使用することになる。仮にタブレットが盗まれた場合、情報流出に繋がる可能性はあるが、ログインするためには職員のID、パスワードが必要であり、誤入力をするると端末にロックがかかる。導入するタブレットはLGWANという行政専用ネットワークを使用し、無線または有線で端末と回線を繋ぐ。外へ持ち出してもLGWAN環境がないため、情報の抜き取りは困難である。

もう一つ個人情報が抜き取られた場合であるが、現状では考えにくいだが、データセンターで個人情報が抜き取られた場合は、受託事業者の責任となる。また、タブレット側においては、仮に誰かが端末に外部媒体を接続し情報を抜き取ろうとすると、本市のICT担当課でわかる仕組みとなっている。タブレット側で問題が発生すれば宇部市の責任となる。

(委員)

では、タブレットを家に持ち帰り仕事をすることはできないのか。

(保育幼稚園学童課)

できない。

(会長)

すでにLGWANを利用した業務はあるのか。

(事務局)

LGWAN回線を利用して様々な業務が行われている。例えば自治体間のメールのやり取りやマイナンバーを通じてのやり取りもLGWAN回線を利用している。

(会長)

LGWANについては運用の実績もあり、情報漏洩の問題も考えにくい。問題があり得るとすれば保育園での取扱いになろうかと考える。現場での取扱いには注意していただく必要があるためご留意いただきたい。

それでは採決したい。この議題に賛成される方の挙手を求める。

<全委員承認>

(会長)

それでは全会一致で賛成することとしたい。

以 上